

# 火の川

第267号 【編集発行】熊日宮原販売センター  
八代郡氷川町柵16-3  
TEL 0965-62-3868 Fax62-2867  
E-mail kuma-miya@rainbow.plala.or.jp



## 夏の一夜を楽しむ 東陽ふれあい夏まつり

8月3日、今年で21回目となる「東陽ふれあい夏まつり」が開催され、会場の石橋公園は多くの人で賑わった。河俣保育園や太陽保育園の園児たちによる可愛いダンス、東陽小児童による合唱、石匠太鼓やダンスなど様々なステージが繰り広げられた。また、会場の飲食店には行列ができ、家族や知人とごさを敷いてピー

ルや食べ物を手手に、祭りを楽しむ姿も見られた。



祭りを盛り上げる石匠太鼓  
【写真提供：東陽支所さま】



## 泉を学び、楽しんだ！ ～夏休み自主学习研究～

泉町の観光・産業施設である『白岩戸公園』や『氷川ダム』を題材とした自主学习研究型イベントが、8月21日に開催された。

氷川ダムでは、ダム管理事務所の職員よりダムの仕組みや役割、さらにはダム管理システムについてわかりやすい説明があった。

白岩戸公園では、ヤマメのつかみ取りやスイカ種飛ばし大会、ヤマメの塩焼き体験などのイベントが実施された。

泉小学校の井上壱ノ助君(5年生)は「氷川ダムの水が天草で飲まれていることにびっくりした。ヤマメのつかみ取りは楽しかったし夏休みのいい思い出になった」と話していた。



こんなにたくさんヤマメが取れたよ

【写真提供：泉支所さま】

## 氷川の源流栗木川を 探検&川上りしよう

・期日：9月22日(日)

※小雨決行・荒天増水時中止！  
・集合：泉コミュニティセンターに9:30  
泉町栗木5866

・内容：鯉の滝登りに激流を遡り、時には泳ぎながら、泉町の自然を満喫できる珍アクティビティー！10:30出発、15:00解散。昼食はカレー・ヤマメの塩焼き・カキ氷etc

・参加費：2,000円(昼食・保険料込)

・募集人員：小学校生以上30人

※ウェットスーツ・ライフジャケット・ヘルメットは準備します。

・申込期限：9月17日(火)

・申込先：泉まちづくり協議会コミュニティビジネス部会(67-2029)



## 地域の資源や資本をどう生かす？ 25年目の来町～東洋大学・山崎義人教授

特別  
寄稿



8月24日から4泊5日の日程で、東洋大学の国際地域学研修がまちづくり情報銀行を拠点に行われた。期間中は同大学の学生と教授の8人のほか、早稲田大学、浜松学院大学、龍谷大学の学生10人も参加。氷川町のまちづくりについて調査を行った。

まちづくり情報銀行にて、大学生と課題解決コースとの交流会。写真左手前が山崎義人教授

### ★まちづくり情報銀行との関わり

私は、25年程前にまちづくり情報銀行のオープニングのお手伝いをさせて戴いた学生の1人です。四半世紀の時が流れ、私も学生を指導する立場になりました。自分の大学の学生や出身大学の学生と、今回は4泊5日の日程で滞在させて戴きました。

さて、まちづくり情報銀行を、地元の方々ほどの程度認知されているでしょうか？若い方々をご存知ない方も多いかも知れません。当時、旧宮原町は全国的に有名なまちづくり先進地でした。その中心的施設が、秋山幸二ギャラリーになっている建物です。



H7年、まちづくり情報銀行オープニングイベントの打上げ(前列右：山崎氏)

今回の訪問目的の1つは、かつてのまちづくりの動きのプロセスや、その成果として出来た施設や計画、条例などについて学生が見聞して学ぶこと。2つ目は、大学生と子ども達が交流しながら、ともに成長する機会について体感することでした。

まちづくりというものには運動論でありムーヴメントであるということがよく言われます。なので、まちづくり情報銀行を中心として、地域の方々や子ども達が、ダイナミックに交流し議論する雰

囲気は、現在では失われてしまっているのかもしれない。今回来てすぐの時には、そのことばかりが気になって、少し寂しい気持ちになりました。

### ★ストックされた地域の資本

しかし、しばらく滞在している間に、少しずつ印象が変わって来ました。動きによって、形作られた様々なものが「地域の資本」として静かではあるが、しっかりと根付いているんだなあと、考えるようになりました。

私達が滞在している間に、利用させて戴いた情報銀行2階奥の部屋や、宿泊させて戴いたまちづくり酒屋。ギロッチョ池や水路脇の小径。移転したみやべ食堂などのお店や様々なものが、町外から訪問した私達の活動をしっかりと下支えしてくれました。形作られた地域の資本が豊かに存在して、普通の生活の中に溶け込み息づいている。このような地域は、全国を見渡してもあまり類例がないのではないのでしょうか。

### ★新たな動きへの期待

では、次の25年に向けて、どのように展開していこうと考えるべきでしょうか？私は若い人達が、新たな動きを生み出していくことが肝要だと思います。また、先達の方々がそれを温かく見守る雰囲気も必要です。

私達が到着した地蔵盆の日に、若い人達がお化け屋敷をして、子ども達の人だかりが出来ているのを見ました。25年以上前に、まちづくりを仕掛けられた先達の方々も、お化け屋敷をされていたと聞いています。新しい芽は、確実に地域中に育っているように思えます。



水辺の散歩道を散策する大学生

さらに、地元でストックされた地域の資本の意味や価値を、もう一度、若い人達が読み解いて、社会的な記憶として継承することから始めてはどうでしょうか。その読み解きそのものを、様々な人々を巻き込みながらムーヴメントにして展開していく。

25年前に活躍されていた方々は、もう初老の域に達せられているかと思います。まさに地域の遺伝子を、若い人がどう受け取るのか、また先達がどう渡していくのか。その仕事を、丁寧に進める必要があるのかも知れません。語り継がれる物語に、昇華するのです。



氷川町役場で発表をする大学生

### ★関係人口の拡大

先日、氷川町役場を訪問させて戴いた折に、地方創生の重点施策に「大学生との交流」が位置付けられていることを伺いました。今後5年の地方創生のキーワードの1つは、関係人口です。つまり、人口減少していくのですから、地元の方々だけでなく、地域外の人々をいろいろなカタチで巻き込みながら、地元の資源や資本を活かしていくことが求められています。

しかし、宮原は随分前から、先駆的にそのような動きの蓄積があります。関係人口の、フロントランナーかも知れません。

私もまた、学生を連れて訪問させて戴きたいと考えています。先述のような動きを生み出すために、そして宮原に育て戴いた者として、微力ながらお手伝いさせて戴ければ幸いです。

【東洋大学国際地域学科教授：山崎義人】

相続登記、法人登記、訴訟業務、成年後見業務など、お気軽にご相談ください。

川口司法書士事務所  
司法書士  
川口邦則(熊本県司法書士会会員)  
住所 氷川町今187番地2  
電話 0965-62-1770  
メール k.kawaguchi.gnn@pearl.ocn.ne.jp



## ひがわ整骨院・ボディバランスひがわ

夏期休診と臨時開院のお知らせ

9月23日(月)から30日(月)まで  
ひがわカードポイント2倍!  
0965-62-1885  
LINE@予約可能



臨時休診・臨時開院のお知らせ

臨時休診：9月21日(土)

臨時開院：9月23日(月)



# ファーストペンギンになる⑥

## 宮崎大生、子ども記者に大人気

### 4期生、9月から土曜日午後に活動開始



宮崎大学地域資源創成学部の根岸副学部長より説明中

研修では、最初に宮崎大学地域資源創成学部の根岸裕孝副学部長より、少子高齢化に伴う地域づくりの一翼を担う大学生育成を目的に同学部を設立し、学部の特徴や学生の活動を紹介します。さらに、2020年の大学入試改革の概要についての説明があった。

続いて、昨年「大学ビジネスコンテスト全国1位」に導いた土屋 有教授より宮崎大学のビジネスコンテスト、学部2回生の学生2人より現在取り組んでいる地域貢献について体験談が紹介された。



早くも縁結び祈願？



### いいね、ふろしき♪ 子記者県外研修レポート①

愛知県豊田市で吉橋さんに会い、ふろしきの話や使い方を学んだ。クジラがあらえない量のビニール袋を飲みこんだことで死んでしまったり、海岸に大量のプラスチックごみが打ち上げられたりと、悲しい現実を知った。便利なビニール袋だが、このままこれにたより続けることで、さらに被害が広がるのでは？と不安になった。

日本の伝統文化であるふろしきを使うことで、ビニール袋を減らすことができる。ふろしきは布なので、何回も何回も使うことができる。必要でない時は、折りたたんで小さくなるし、はしとはしを結ぶだけでバッグが作れる。まさに一石五鳥の品だ！

県外研修から帰って、実際にぎろっちよの変顔ふろしきを使ってみた。祖父の家に行く際、おみやげと本を持って行った。意外とたくさん運べて、便利だった。

8月20日、宮崎大学地域資源創成学部を訪問し、ジュニアリーダーや子ども記者23人と大人9人が参加した。氷川町企画財政課との合同企画で、人材育成と大学進学への進路決定の一助とするのが目的。

参加者のアンケートでは、今後も続けて欲しい！という要望がほとんどで、次年度以降も継続して取り組む予定である。

学食での昼食後は青島へ足を伸ばし、神社への参拝や散策を楽しんだ。以下は、アンケート項目に対する参加者の回答(抜粋)。

- ①研修の内容: とても良かった86%、良かった14%
- ②興味があった内容(いくつでも): 大学生の発表88%、公開講座35%、学生との意見交換13%
- ③大学との連携を続けて欲しいか?: 続けて欲しい96%
- ④参加してみたい研修内容は?(いくつでも): 観光85%、農業54%、人材育成54%、コミュニケーション42%
- ⑤その他感想: 大学生が問題を解決しようと、いろいろな活動をしているのがわかった。大学生の発表がすごくいろいろな学べた。大学生がフレンドリーと一緒に話したりご飯を食べたりして、楽しくていい勉強になった。日本の最大課題である人口減少への対策を、しっかりしたい。

また、買い物の時にエコバッグとして使った。入れるものの大きさに合わせて布の大きさも変えられたので、とても便利だった。これからもふろしきを使って、ビニールごみを減らそうと思った。また、ほかのごみも捨てるのではなく、再利用していきたい。いいね、ふろしき(\*^^)v

【宮原小6年:佐々木幸恵】



ふろしきの活用法を学ぶ子どもたち



### ◆まちの課題解決・探求コース4期生始動

当初、夏休みスタートを予定していた課題解決コース4期生は、日程調整が難しく延期。その後、新たな仲間を加え、9月から毎週土曜日の午後に活動を開始する。最初のテーマは水路で、カメラを片手に生物や水量などを調査して地図にまとめる。  
☆メンバー: 三好爽心(東陽小4)、澤村煌大(東陽小5)、四宮裕恒・四宮咲弥(宮原小5)、佐々木幸恵(宮原小6)、赤星美羽(氷川中2)

新連載

## 【人生のまくら話③～鈴嶋克太】 フィリピンから再びアメリカへ ～大きく分厚い文明国家～

子ども記者OBで、東京大学に進学した鈴嶋克太くん。休暇時に日本のみならず世界各地へ足を運び、もっと世界を知りたい！と同大学を休学し、昨年9月からアメリカへ留学している。

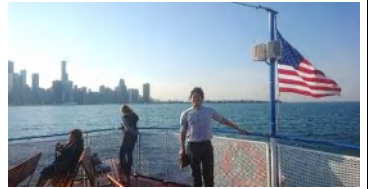
彼の経験を後輩たちへ！という依頼を快諾し、7月号から始まった連載。今回は、夏休みのフィリピンでのインターンシップから戻り、改めてアメリカの大学について紹介。

ちなみに、タイトルの「人生のまくら話」とは、思いついたことを落語の「まくら」的に場の空気を盛り上げると、彼がまだ若くて人生の「本題」を経験していないの意。

夏休みが終わり、再びアメリカへ。9月2日からまた忙しい学業生活が始まった。2年目の留学生活もすっかり慣れてしまったが、最初に来た時はいろいろな事に対して面食らったものだ。特に、アメリカの「文明」の大きさ・分厚さを実感した。

アメリカ合衆国は草原、湿地、砂漠などが広がる先住民の地に入植・開拓してきた若い国家である。日本人がアメリカと聞いてしばしばイメージする様な、ニューヨークやシカゴなどの街並みはほんの一部でしか見られず、感覚としては全土地の9割以上は農作地帯や自然が広がっている。

時折、そんな大自然の間を縫って、忽然と幹線道路や高層ビル群が現れるのだ。今までいくつかの都会に足を運んできたが、いずれも「自然



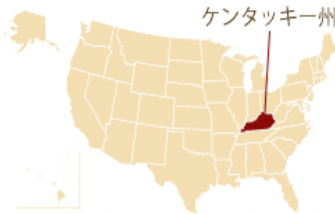
ミシガン湖のクルーズ船より摩天楼発祥の地・シカゴを望むが広がる広大な土地を『文明』の力で切り開き、建設された街』という印象が強い。

上記の印象は田舎に行っても感じることが多いが、その例の一つが「大学」である。

私が通っているところは、ケンタッキー中部にある創立200年の歴史ある教養系の大学だ。所在地は、宮原の10倍くらい田舎だ。というのも、その郡は熊本市の約1.22倍の面積でありながら、人口は3万人弱ほどしかなく、人口密度は59人/㎢と北海道より低い。そんな田舎に、立派な施設がそろい、全米・世界各国から優れた教員、学生を集める大学があるというのは驚きだ。

アメリカには、教育重視の小さい学校や研究も行う大きい学校など、様々なタイプの大学があるが、名門といわれる学校には田舎に位置するものが少なくない。また、偏差値の様なものが存在せず、各校が各々の教育の特色や求める学生像をアピールし、様々な才能、経歴を持った学生を積極的に獲得し教育していく。大都市にある偏差値の高い学校がヒエラルキー(階層性)の上位を占める、といった日本の状況とは大違いである。

この様な状況を見ていて思うのは、アメリカの大学教育は層が分厚いということである。全米津々浦々に「名門」と言われる大学が林立していること、この国がいかに高等教育に熱心であるかを考えると、身震いする様な思いである。



ケンタッキー州



### 新刊～「魅せる学校」アイデアと理論と実践と

氷川町宮原在住の村内一誠氏の単著。アイデアは、ギリシャ語で「万物の元」の意味。教育の元を「教育のあるべき姿」とし、それを実現する理論と実践が書いてある。読書好きの少年が教師となり、読書から得た生き方を語った人生論の書。学級担任が自信を持って子どもを育てるためには、毎日の具体的な実践活動をどれだけ継続的に行わせることが出来るか？そんな活動のやり方を紹介している。(樹文芸社、1300円+税)

**生徒募集!! しのはらピアノ・声楽教室**

氷川町宮原 桜ヶ丘町民グラウンドのほり口 常業保育所駐車場先

あなたも音楽をはじめませんか??

ちいさなお子様からおとなの方まで、お一人おひとりのご希望・ペースにあわせて楽しくお気軽に学べる個人レッスンです。

レッスン料: 5500円~7000円 (30分×4回/月)

ご希望により、1レッスンずつの単発レッスンや月2回の隔週レッスンも承ります。喜大受験など専門コースは、1時間レッスンとなります。詳しくは、お問い合わせください。

お問い合わせ: 090-3736-3371 soprano-cembalo@mail.goo.ne.jp

売地(綱道)	売地(鹿島)	売地(宮園)	売地(新村)
132坪(宅地)	91坪(宅地)	75坪(宅地)	150坪(宅地)
264万円	550万円	523万円	450万円
宮北東小・宮北中学校区・上下水道可・有佐駅車10分	宮北西部小・宮北中学校区・上下水道可・有佐駅車10分	宮原小・氷川中学校区・上下水道可・有佐駅徒歩10分・併介	宮原小・氷川中学校区・上下水道可・有佐駅徒歩5分・売主

**売地・売家を募集しています。**

価格査定は、無料です。

氷川町宮原566-2

アシスト氷川 代表 江崎 悟

TEL 090-9797-2312